

令和3年度全国高等学校教育改革研究協議会 説明資料

宮崎県教育委員会



① スクール・ミッション及びスクール・ポリシーの策定状況



○ 令和3年3月 宮崎県立高等学校教育整備基本方針

～新時代へ向けた宮崎の高等学校教育の創造～ **を策定**

(方針の期間：令和3年度から令和10年度までの8年間)

その中で…

- 「求められる学校像」を提示し、各学校が育成を目指す生徒の姿、資質・能力等を明確に設定することの重要性を提言。
- 県教育委員会において「スクール・ミッション」の再定義を行う。
- 各高等学校において3つの「スクール・ポリシー」の策定を行う。

4 スクール・ミッションとスクール・ポリシー（宮崎県立高等学校教育整備基本方針 p 4）



現在、各高等学校では、「学校経営ビジョン」や「校訓」等を踏まえた教育課程を編成し、心身の発達及び目指す進路目標に応じて高度な普通教育及び専門教育を実施していますが、今後は、各学校が目指す生徒の資質・能力を具体的に、よりわかりやすく示すことが求められます。

そして、**教育の質的充実と魅力ある学校づくりを推進するために、学校の存在意義や期待されている社会的役割、目指すべき学校像等を改めて問い直すことが求められています。**このため、**生徒の状況や保護者の思い、学校や地域社会の歴史、実情、将来の姿等を踏まえ、学校や地域社会等と丁寧な意見交換を行いながら、教育委員会において「スクール・ミッション」の再定義を行うことが必要**となっています。

この再定義されたスクール・ミッションを画餅にしないため、各学校において育成すべき資質・能力を明確にし、具体化するとともに、学校全体の教育活動の組織的・計画的な改善に結実させるよう、卒業の認定に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）の**3つのスクール・ポリシーを各高等学校が策定し、公表することとします。**

○ 宮崎県立高等学校教育整備基本方針 の公表（令和3年3月）と並行して スクール・ミッション策定に着手

策定スケジュール案②

策定スケジュール案①

- ① 1月中旬～2月8日（月）
 - 各校担当指導主事がスクールミッションの叩き台を作成
 - 各担当指導主事と各校校長の間で意見交換を行い、スクールミッションを策定
- ② 2月12日（金） 校長会
 - 本会で、スクール・ミッション、アドミッション・ポリシー（案）の一覧表を提示
- ③ 2月15日（月） 定例教育委員会（2月）
- ④ 3月12日（金） 定例教育委員会（3月）
- ⑤ 3月29日（月） 校長会
 - 本会で、スクール・ミッション、アドミッション・ポリシー（案）の一覧表を再提示
- ⑥ 4月末日まで
 - 令和4年度高校入試のアドミッション・ポリシー、推薦入試の検査内容及び推薦入試の募集
人員の割合の原案を高校教育課へ提出
- ⑦ 5月～6月
 - ⑥で提出された内容を受け、必要に応じて、県教育委員会と各校校長間で調整を行う。
- ⑧ 6月末日まで
 - 令和4年度高校入試のアドミッション・ポリシー、推薦入試の検査内容及び推薦入試の募集
人員の割合の確定版を高校教育課へ提出
- ⑨ 7月下旬
 - 募集人員の公表
- ⑩ 8月下旬

- ・ 2月24日まで 各担当（高校教育課）より修正版を各校長に送付
- ・ 2月25日～4月21日 調整期間
- ・ 4月21日までに原案を提出
(各校→高校教育課)
- ・ 4月28日 高校教育課から各学校にスクール・ミッションを提示
- ・ 5月定例教育委員会 説明
- ・ 6月定例教育委員会 付議
- ・ 6月下旬 スクール・ミッション公表



【宮崎県HPにおいて公表】

[トップ](#) > [暮らし・教育](#) > [教育・生涯学習](#) > [学校教育](#) > [宮崎県立高等学校及び中等教育学校におけるスクール・ミッションについて](#)

○ 原案作成において提示した注意事項



3 調整期間前に（2月24日まで）に各担当が行うこと

- 次の4点を各校担当から連絡（連絡前に、①②などを踏まえて修正を行い、連絡の後、修正版を各校長に送付）し、本課へ4月21日提出締切として、原案の練り上げを各校長に依頼する。
 - ① 文末を「～目指す学校」「～育成を目指す学校」とした2～3項目とし、全体の字数を200字～330字程度とする。
 - ② 令和3年1月16日 中央教育審議会 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適の学びと、協働的な学びの実現～（答申）のp 51の（2）の①の上から2つの○の内容を踏まえた記載になっているかを、再度確認を依頼する。
 - ③ 2月25日から4月21日までに、学校評議委員会や職員会議（運営委員会）、PTA役員会等と広く意見交換を行い、スクール・ミッションの原案を練り上げていくことを求める。
 - ④ 4月21日までに提出された原案を、県教育委員会で修正することがあることを伝える。

4 その他

- 4月21日までに各校から提出されたスクール・ミッションの原案については、高校教育・学力向上担当の高校入試改善担当で調整（文言、地域内・学科内バランス等の点検）を行う。
- 上記2、3について、高校教育・学力向上担当の高校入試改善担当から全県立高等学校長へ、庁内メールで連絡を行う。

○ 最終スケジュールを県立校長会で提示（令和3年3月末）

令和4年度推薦入学者選抜までの流れ（予定）（スクール・ミッション及びスクール・ポリシー策定も含む）

策定最終スケジュール

年度	月日	内 容
令和3年度	4.21	・ <u>スクール・ミッションの提出</u> （各高校→高校教育課）
	4.28	・スクール・ミッション（案）を提示（高校教育課→各高校）
	4.30	・令和4年度推薦入学者選抜の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）の <u>原案を提出</u> （各高校→高校教育課）
	5月	・入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）の原案について、県教育委員会と各校長間で調整
	5.20	・定例教育委員会 事後レク（スクール・ミッション）
	5.31	・令和4年度推薦入学者選抜の検査内容・募集人員の割合の <u>原案を提出</u> （各高校→高校教育課） ・令和4年度推薦入学者選抜の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）の <u>確定版を提出</u> （各高校→高校教育課）
	6月	・令和4年度推薦入学者選抜の検査内容・募集人員の割合の原案について、県教育委員会と各校長間で調整 ・定例教育委員会 付議（スクール・ミッション）
	6.29	・スクール・ミッション及びアドミッション・ポリシーの公表
	6.30	・令和4年度推薦入学者選抜の検査内容・募集人員の割合の <u>確定版を提出</u> （各高校→高校教育課） ・（予定）令和4年度一般入学者選抜の検査内容の <u>原案を提出</u> （各高校→高校教育課）
	7月下旬	・令和4年度高等学校入学者選抜要綱の発表 ・令和4年度推薦入学者選抜の検査内容・募集人員の割合の公表
	7.31	・（予定）令和4年度一般入学者選抜の検査内容の <u>確定版を提出</u> （各高校→高校教育課）
	8月中旬	・県立校長会へ令和4年度高等学校入学者選抜の説明
	8月下旬	・（予定）令和4年度一般入学者選抜の検査内容の割合の公表
	10月	・高等学校入学者選抜説明会（各教育事務所へ）
	12月下旬	①育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー） ②教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） ★①②の <u>確定版を提出</u> （各高校→高校教育課）
	2月	・新検査実施（「令和4年度推薦入学者選抜」（自己推薦型））（予定）



○ スクール・ポリシー作成依頼（各校へ）

令和4年度入学生に対するスクール・ポリシーについて

高等学校

【スクール・ミッション】（県教育委員会が令和3年6月29日に決定済み）

○高い目標や理想に向かって自らを鍛錬し、日々の学校生活の中で個性を伸ばしながら、社会における新たな価値を創造し、大進を歩む生徒の育成を目指す学校
 ○連携し高め合う教職員による授業を中心に、質の高い多様な教育活動を行うことで、生徒の学力や専門性を向上させ、生徒個々の進路目標の実現を目指す学校
 ○協働と奉仕の精神で、家庭や地域社会との連携・協働・共育を推進していくことにより、地域から信頼され、持続的な地方創生の核となることを目指す学校

【スクール・ポリシー】（各高等学校が決定）

グラデュエーション・ポリシー	
カリキュラム・ポリシー	
アドミッション・ポリシー	<p>（各学校において決定済み）</p> <p>本校では、自己を鍛錬し、個性を伸ばしながら新しい価値を創造できる生徒の育成を目指しています。そのため、次のような生徒の入学を歓迎します。</p> <p>（1）基本的な生活習慣が身に付いており、多様な学習活動を通して、学力や専門性を向上させていきたい生徒</p> <p>（2）学校行事・部活動に意欲的に取り組む中で、多面的に人間性を磨いていきたい生徒</p> <p>（3）本校の特色である「地域で学び、地域を学ぶ」活動に強い関心を持ち、仲間とともに主体的に考えながら活動していきたい生徒</p>

※グラデュエーション・ポリシー
 生徒の卒業後の姿を見据えて、学校教育活動を通じて生徒にどのような資質・能力を育成することを旨とするかを定める基本的な方針。

※カリキュラム・ポリシー
 グラデュエーション・ポリシーを達成するために、どのような教育課程を編成し、実施し、学習評価を行うのかを定める基本的な方針。

※アドミッション・ポリシー
 スクール・ミッションや、グラデュエーション・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、入学時に期待される生徒像を示す基本的な方針。

<記入上の注意>

- ・スクール・ミッション、アドミッション・ポリシーについては、変更ができません。
- ・各学校の統一を図るために、記入例のような形で作成してください。
- ・各学校の統一を図るために、それぞれ5項目程度でお願いいたします。
- ・できるだけ分かりやすい表現に努めてください。



②高等学校の特色化・魅力化に向けた取組等

Miyazaki SDGs Education Consortium

みやざきSDGs教育コンソーシアム (MSE^{エムセック}C)



Miyazaki SDGs Education Consortium

- 令和元年7月設置
- 文理にとらわれない多様な学びである「探究的な学び」を通して、SDGsの実現を目指す意識を醸成し、地域のみならず日本、世界で活躍し、次の社会を牽引する新たな価値や産業を創造し得る力を有し、社会の発展に寄与できる人材育成を目指す。
- 県内高等学校が、それぞれの特色を生かしながら、全県的に探究的な学びの浸透とその指導法の充実を図る。



【構成校】 県内高等学校等 18校 (赤は、ひなたハイスクール・ネットワーク構成校)

代表機関：宮崎県教育委員会 高校教育課

WWL：宮崎大宮 SSH：宮崎北、宮崎西、延岡 地域協働：宮崎南、飯野、五ヶ瀬

遠隔授業実証事業校：高鍋 元SPH校：高鍋農業

他構成校：宮崎海洋、都城泉ヶ丘、日向、延岡星雲、都城西、小林、日南

ひなたハイスクール・ネットワーク構成校 (受信校)：高千穂、福島

学校間連携のネットワークのハブとして活用・各事業の相乗効果

◆ 3年間の事業イメージ

地域社会に根ざした高等学校の学校間連携・協働ネットワーク構築事業
 (COREハイスクール・ネットワーク構築) (文部科学省指定事業)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
県北コンソーシアム (高千穂高校)	地域と連携した探究的な 学びの更なる充実	県南コンソーシアム との交流	MSECを活用した 全県下との交流
県南コンソーシアム (福島高校)	地域と連携した探究的な 学びの更なる充実	県北コンソーシアム との交流	MSECを活用した 全県下との交流
MSEC (全県18校) 代表機関：宮崎県教育委員会 高校教育課	フォーラムにおいて 2校の学び等の普及	フォーラムにおいて 2校の学び及び遠隔授業 のノウハウ等の普及 (発表・交流)	フォーラムにおいて 2校の学び及び遠隔授業 のノウハウ等の普及 (発表・交流)

・ 2つのコンソーシアムの学び
 ・ ひなたハイスクール・ネットワークの学び
 ⇒ これらの普及・共有の場として、MSECを活用

Miyazaki SDGs Education Consortium



Miyazaki SDGs Education Consortium

県立高校
コミュニティ・スクール
6校における
地域課題解決学習
モデルの研究テーマ

コミュニティ・スクール	各市町「まち・ひと・しごと総合戦略」における高校生等の関わり(主なKPI)	研究テーマ(主な取組)
<p>本庄高等学校 (国富町・綾町)</p>	<p>■地域・企業ニーズに合った「人材の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な学びや充実したキャリア教育の実践を通して、進学・就職体制をさらに充実 地元企業や関係機関と連携し若者が地元で活躍できる環境を創出 <p>KPI: 人財育成支援に関する制度事業を利用した実績、地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒率</p>	<p>地域資源を生かした観光産業や高いブランド力を持つ農畜産業等との本庄版デュアルシステムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 特徴的地域資源、社会資源を活用した企業での実習と学校での学習を一体化させた職業人育成カリキュラムの研究
<p>福島高等学校 (串間市)</p>	<p>■新規就業の促進・定着支援と地域を担う人財育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校生の学習意欲の向上や部活動の活性化とあわせ、経済的負担を軽減 <p>■関係機関連携によるビジネス・マッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関や事業所等との連携のもと、地元就職を促進。 「くしま学」等の授業を通し、地域に誇りを持ち、地域に貢献する意識を持った人材の育成 <p>KPI: 市内高校生の地元就職率</p>	<p>「しあわせで、住みよい、豊かな串間の創造」に向けた高校生のまちづくり参画と協働体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 「くしま学」による地域文化等の理解と「選ばれるまち」づくりに向けた地域課題の見出しと導かれる具体的施策研究を行うための探究学習モデルの研究
<p>飯野高等学校 (えびの市)</p>	<p>■人材マッチング等による就職や転職の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校大学卒業者等へ地元企業の認知度を向上させ、雇用側と労働側のミスマッチを解消 <p>■質の高い教育を行い、郷土を担う人材を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育環境の整備充実により、地元教育環境に対する不安を払拭(小中高一貫教育推進事業、飯野高校支援事業) <p>KPI: 市内高校新卒者の就職人数</p>	<p>「交通、情報、人の交流拠点」で構築するコミュニケーションデザインに係る研究</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方と地方、地方と都市部、地方と海外等を結ぶ新しい相互コミュニケーションの形を構築し、質の高い学習環境を研究 地方間の地域課題の共有化、具体的な施策提案を行うための探究学習モデルの研究
<p>門川高等学校 (門川町)</p>	<p>■特産品ブランド化による地域経済の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校との商品開発連携、生産者とのマッチング等、6次産業化プロジェクト <p>■移住・定住促進と教育機関との連携による交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 小・中・高と高等教育機関連携によるふるさと学習、キャリア教育、学習支援等により学習環境を整備・充実 <p>KPI: 門川ブランドの確立</p>	<p>産学官連携による6次産業化、門川ブランドプロジェクトの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 門川町、大学等と連携しての新たな加工費食品開発等、新たな門川ブランドを開発するプロジェクト学習の研究 高校生目線による観光資源の創出学習
<p>高千穂高等学校 (高千穂町)</p>	<p>■未来を担う「高千穂人」育成プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼・小・中・高連携による豊かな人間性と高い教養を持ち合わせ、高千穂町の将来を担う人財の育成 地元で学び続けられる教育環境の整備 <p>KPI: 高千穂高校全校生徒数、将来地元での就職を希望する高千穂高校生の割合</p>	<p>高千穂の魅力発信と特色を活かした町づくりに向けた探究学習の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界農業遺産を活用したブランド化プロジェクトへの参画、高校生目線による新たな観光資源の発掘・創造学習 高千穂の強みを活かした町づくり探究学習
<p>妻高等学校 (西都市)</p>	<p>■コミュニティ・スクールをコアとして、学校Winー生徒Winー地域Win</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の強みを生かし、地域と一体となった特色ある学校を創る 学校と地域が連携、共創し、元気と活力ある地域を創る 小中高が連携し、地域の将来を担い、地域を支える人材を育てる。 <p>KPI: 市内中学校から妻高校への進学率</p>	<p>小中学校との教育連携事業等の充実による質の高い学習環境の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源を生かした探究活動(観光、特産品開発等)世界農業 地域の諸問題について学ぶ「さいと学」



県立コミュニティ・スクール オンライン シンポジウム

発表校
 県立コミュニティ・スクール (6校) : 高千穂高等学校、門川高等学校、妻高等学校、本庄高等学校、猿野高等学校、福島高等学校
 発表エントリー校 (4校) : 佐土原高等学校、都城農業高等学校、宮崎南高等学校、小林高等学校

日時 令和3年 **12月19日(日)** 13:00~16:30

対象 小・中・高・大学生の皆さん
保護者の皆さん
教育関係者の皆さん
学校運営協議会関係者の皆さん

定員 オンラインでの参加200名程度

主催 宮崎県教育委員会

パネルディスカッション
 ~私たち高校生ができる
 地域・学校の魅力化とは~
 <ゲスト・司会> 田代 剛 (フューチャラウンサー)
 <パネラー> ・県立コミュニティスクール
 6校の高校生の皆さん
 ・発表希望校
 4校の高校生の皆さん
 ・定例司会者・編集・交通協賛
 三浦 久知 主任主事
 ・協賛司会者
 山下 亮介 主査

学校、地域で意見交換を行い、学校運営を行う
 県立高校の「コミュニティ・スクール」
 学校を核とした地方創生活動をさらに
 推進するために、家庭や地域、学校の皆
 さんで考えましょう。

お問い合わせ
 株式会社A V C放送開発内
 「みやざきハイスクール Expo」事務局
 電話 0985-51-5889

日 程	
13:00	開会行事
13:15	地域課題解決型研究発表 ・県立コミュニティ・スクール 6校の皆さん ・発表希望の県立高校 4校の皆さん
15:15	パネルディスカッション
16:00	オンライン参加者との意見交換
16:15	閉会行事

参加申し込み方法
 以下の登録フォーム(右のQRコード)からお申し込みください。
<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe8cQ3zS5y-BKV1pXpzQM18zmkNfdHtbOIQRNfHGukZyYia8A/viewform>
 登録フォームにメールアドレス・氏名・年齢・所属等を入力の上、送信してください。



県立高校がつなくパトン
 生徒の「ココロ」が生み出す明るく楽しい県立高校の魅力!
 先行き不安なコロナ禍の中で、学校や進学への不安があるかもしれませんが、でも、生徒たちは前を向いて、
 こんなに楽しくこんなに一生懸命!学校生活を楽しんでいます!そんな生徒達の姿をご覧ください。

特設WEBサイト 学生達の新しい表現のカタチ!オンライン文化祭!
 はこちら! <https://miyazaki-festa.online/>

2021年12月5日(日)		
10:00~10:30	オープニング ダンス部門	YouTube Live ユーチューブにてLIVE配信! 詳しくは特設WEBサイトをチェック!
11:00~11:30	合唱部門	
12:00~13:30	演劇部門	学校説明・進路相談会 オンライン学校説明会 県立高校の魅力を提供する「オンライン学校説明会」も同時開催!スケジュールは裏面を チェック!
14:00~14:30	M&B部門	
15:00~16:00	学校紹介CMコンテスト 表彰式/閉会式	

主催 宮崎県教育委員会